

# Russell/Nomura 日本株インデックス パフォーマンス・レビュー

## 07年1月のRussell/Nomura Prime 指数（米ドル建て）は前月比0.35%の上昇

Russell/Nomura Prime 指数（米ドル建て）は前月末より0.35%の上昇となった。バリューストックのパフォーマンスが良好であり、前年後半から不振であった小型株のパフォーマンスも改善を見せた。リビジョン・インデックスは前月の3.29より低下し、0.83と、僅かながら上方修正銘柄数が下方修正銘柄数を上回った。

- 【スタイル別ではバリューストック、小型株】2007年1月のRussell/Nomura Prime 指数（米ドル建て）では、月次リターンが0.35%上昇する結果となった。スタイル別では、バリューストック、小型株が良好なパフォーマンスを見せた。
- 【リビジョン・インデックスは0.83】個別銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスは前月の3.29より低下し、0.83となった。僅かながら上方修正の銘柄数が下方修正の銘柄数を上回る結果を示した。
- 【空運業がアウトパフォーム】Russell/Nomura Prime 指数における業種別では空運業、ガラス・土石製品が高い月次リターンを示した。
- 【任天堂（7974）の寄与度が最上位に】Russell/Nomura Prime 指数構成銘柄で見た寄与度ランキングでは、任天堂（7974）、ソニー（6758）が上位となった。

### スタイル別月次ランキング（円ベース）

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603
1	小型 -2.77	コア 2.49	小型 4.18	小型 3.25	割安 6.42	割安 13.04	小型 5.71	成長 8.65	小型 10.19	割安 4.67	割安 -1.11	小型 5.51
2	コア -4.28	成長 1.87	市場 2.90	成長 2.25	コア 6.13	コア 12.99	割安 2.44	コア 7.48	成長 9.32	コア 4.42	コア -1.17	成長 4.82
3	市場 -4.31	割安 1.77	割安 2.76	市場 2.21	市場 5.67	市場 12.01	市場 2.09	市場 6.63	市場 7.40	市場 3.71	市場 -2.58	市場 4.73
4	成長 -4.45	市場 1.62	成長 2.70	コア 2.11	成長 5.60	成長 11.90	コア 1.08	小型 5.67	コア 6.35	成長 3.06	成長 -2.89	割安 4.33
5	割安 -4.50	小型 -0.18	コア 2.31	割安 1.88	小型 2.49	小型 7.73	成長 0.77	割安 5.00	割安 4.61	小型 2.86	小型 -6.87	コア 4.18
順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701		
1	コア 0.38	割安 -7.54	コア 1.55	コア 0.95	小型 4.77	成長 -0.85	コア 1.61	コア -0.50	コア 5.91	割安 3.47		
2	割安 0.17	市場 -7.90	成長 1.14	割安 -0.24	成長 4.11	市場 -0.97	成長 1.09	成長 -0.60	割安 5.46	小型 3.06		
3	市場 -0.70	成長 -7.94	市場 0.61	成長 -0.56	市場 4.07	割安 -1.08	市場 0.61	市場 -0.80	成長 5.03	コア 2.57		
4	成長 -1.20	コア -8.03	割安 0.53	市場 -0.91	コア 3.86	小型 -1.25	割安 0.56	割安 -0.88	市場 4.99	市場 2.39		
5	小型 -2.07	小型 -9.24	小型 -1.44	小型 -5.44	割安 3.82	コア -1.32	小型 -1.49	小型 -1.69	小型 3.10	成長 1.22		

投資スタイルと対応指数  
 市場 Russell/Nomura Prime  
 コア Russell/Nomura Top Cap  
 割安 Russell/Nomura Large Cap Value  
 成長 Russell/Nomura Large Cap Growth  
 小型 Russell/Nomura Small Cap

(注) リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融経済研究所

2007年2月5日  
クオンツレポート

カテゴリー

インデックス・リサーチ

野村証券金融経済研究所  
金融工学研究センター

石毛 洋子

田村 浩道

野村証券株式会社 金融経済研究所 〒100-8130 東京都千代田区大手町2-2-2 アーバンネット大手町ビル

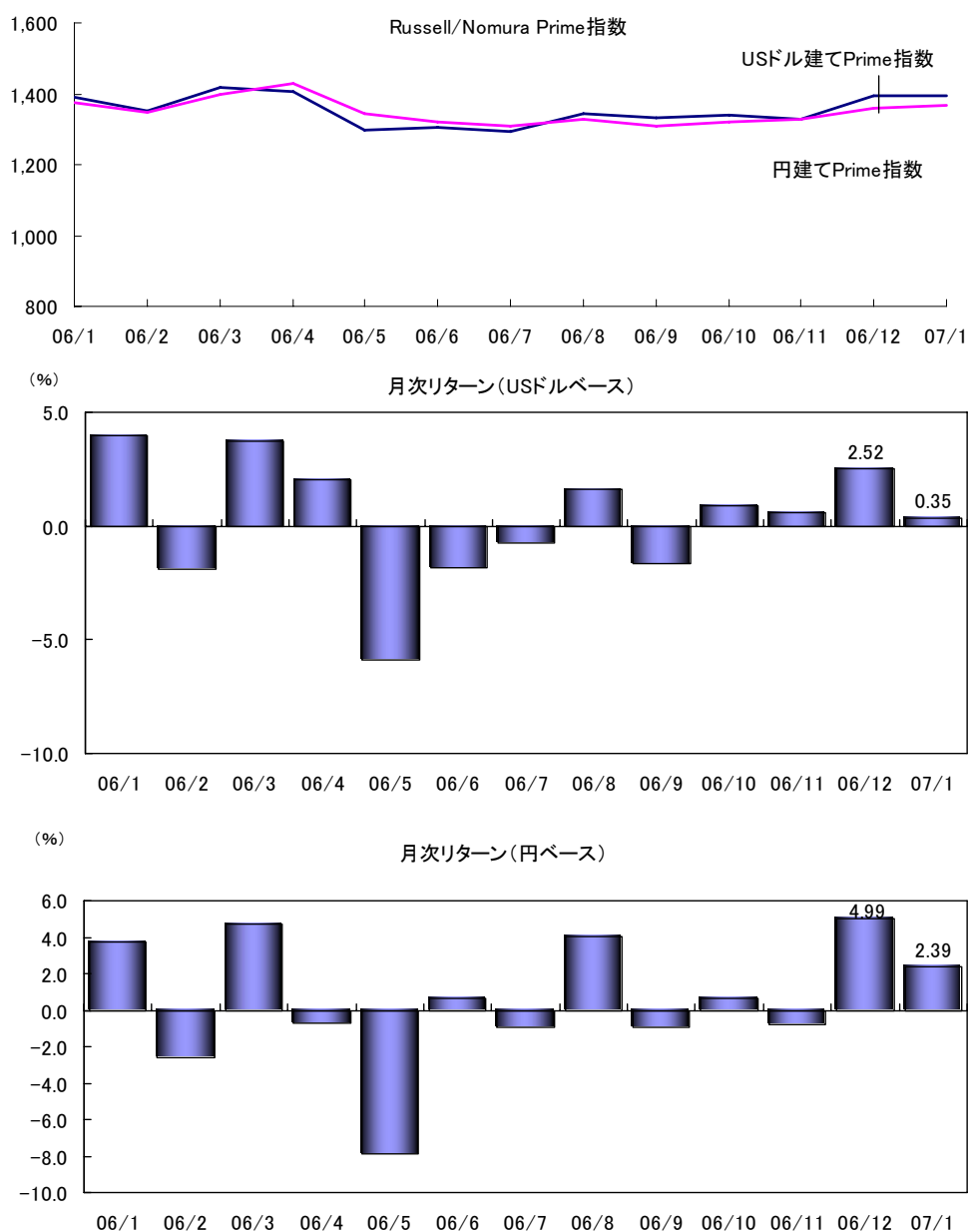
このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## 1. Russell/Nomura 日本株インデックスパフォーマンス概況

### 07年1月のPrime指数(米ドル建て)は、前月比0.35%の上昇

2007年1月は、日本株式市場の動きを示す Russell/Nomura Prime 指数(米ドル建て)が前月比 0.35%の上昇となった。1月末時点の為替レート(月末終値、出所：日本銀行)は、12月月末時点の 118.92 円から 121.34 円となった。円建てベースでは、前月比 2.39%の上昇となっている(図表1)。

図表1 Russell/Nomura Prime 指数月次パフォーマンス



(注) リターンは配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融経済研究所

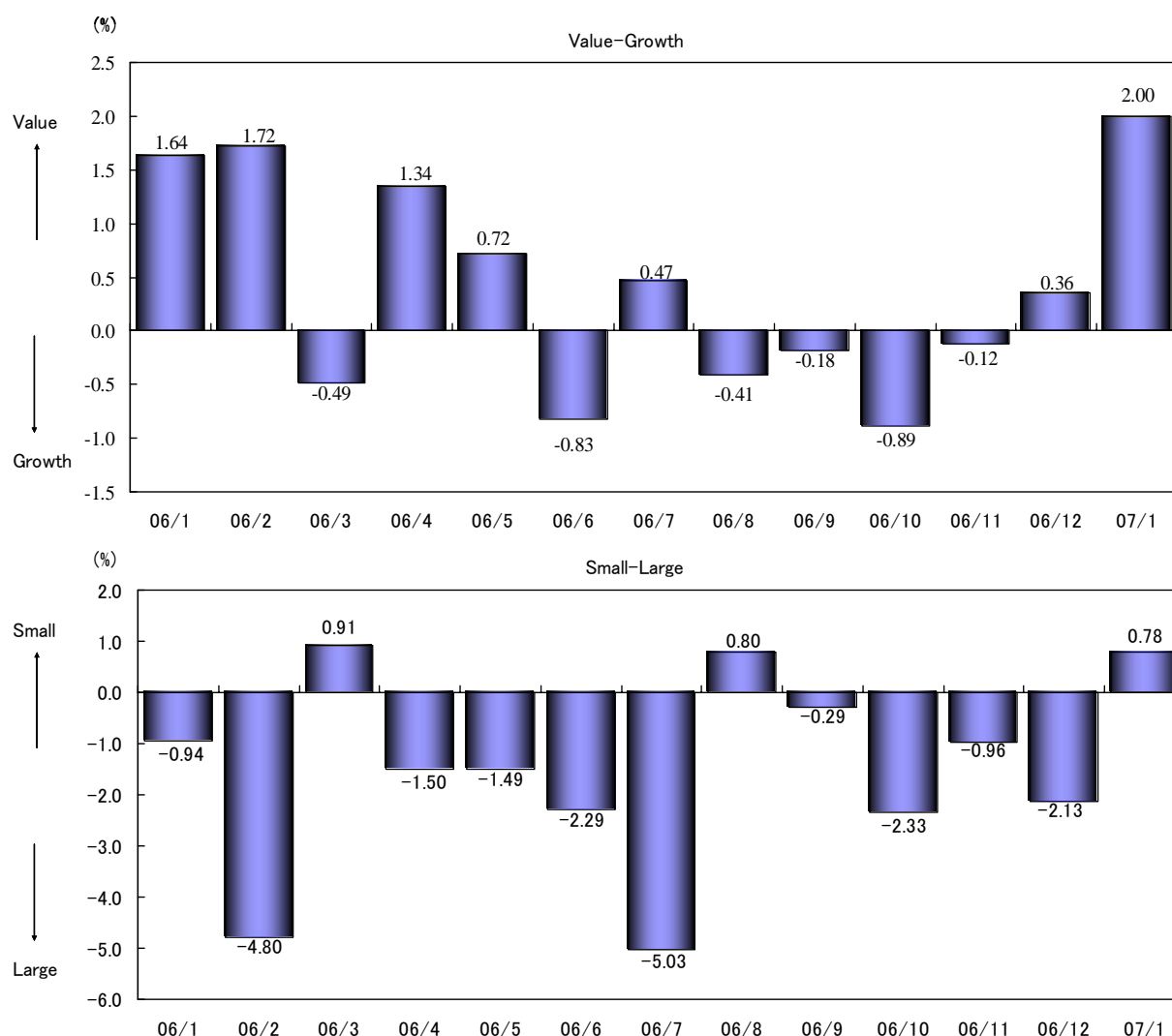
このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## バリュー株好調、小型株のパフォーマンスも改善

図表 2 に、スタイル別のリターン・スプレッドを示している。また、図表 3 は、市場、コア（時価総額上位 50%以上）、割安（大型・バリュー株）、成長（大型・グロース株）、小型といった 5 つのスタイル区分による月次リターンのランキングを表している。なお、ここでのパフォーマンスの算出には、円建てベースの数値を採用している。

バリュー株のパフォーマンスは、昨年初来好調な結果となった。バリュー株とグロース株では 2.00% のスプレッド・リターンとなっている（図表 2）。このバリュー株の好調なパフォーマンス傾向は、大型株のバリュー株にもおいても同様に見られた（図表 3）。また、昨年後半以降不振傾向にあった小型株も、1 月は Prime 指数をアウトパフォームした。小型株と大型株のスプレッド・リターンは 0.78% となった。

図表 2 スタイル別パフォーマンス



(注) Value-Growth は Value と Growth のリターンの差、Small-Large は Small と Large のリターンの差である。

リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融経済研究所

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

図表3 スタイル別月次ランキング (円ベース)

順位	200504	200505	200506	200507	200508	200509	200510	200511	200512	200601	200602	200603
1	小型 -2.77	コア 2.49	小型 4.18	小型 3.25	割安 6.42	割安 13.04	小型 5.71	成長 8.65	小型 10.19	割安 4.67	割安 -1.11	小型 5.51
2	コア -4.28	成長 1.87	市場 2.90	成長 2.25	コア 6.13	コア 12.99	割安 2.44	コア 7.48	成長 9.32	コア 4.42	コア -1.17	成長 4.82
3	市場 -4.31	割安 1.77	割安 2.76	市場 2.21	市場 5.67	市場 12.01	市場 2.09	市場 6.63	市場 7.40	市場 3.71	市場 -2.58	市場 4.73
4	成長 -4.45	市場 1.62	成長 2.70	コア 2.11	成長 5.60	成長 11.90	コア 1.08	小型 5.67	コア 6.35	成長 3.06	成長 -2.89	割安 4.33
5	割安 -4.50	小型 -0.18	コア 2.31	割安 1.88	小型 2.49	小型 7.73	成長 0.77	割安 5.00	割安 4.61	小型 2.86	小型 -6.87	コア 4.18
順位	200604	200605	200606	200607	200608	200609	200610	200611	200612	200701		
1	コア 0.38	割安 -7.54	コア 1.55	コア 0.95	小型 4.77	成長 -0.85	コア 1.61	コア -0.50	コア 5.91	割安 3.47		
2	割安 0.17	市場 -7.90	成長 1.14	割安 -0.24	成長 4.11	市場 -0.97	成長 1.09	成長 -0.60	割安 5.46	小型 3.06		
3	市場 -0.70	成長 -7.94	市場 0.61	成長 -0.56	市場 4.07	割安 -1.08	市場 0.61	市場 -0.80	成長 5.03	コア 2.57		
4	成長 -1.20	コア -8.03	割安 0.53	市場 -0.91	コア 3.86	小型 -1.25	割安 0.56	割安 -0.88	市場 4.99	市場 2.39		
5	小型 -2.07	小型 -9.24	小型 -1.44	小型 -5.44	割安 3.82	コア -1.32	小型 -1.49	小型 -1.69	小型 3.10	成長 1.22		

投資スタイルと対応指数

- 市場 Russell/Nomura Prime
- コア Russell/Nomura Top Cap
- 割安 Russell/Nomura Large Cap Value
- 成長 Russell/Nomura Large Cap Growth
- 小型 Russell/Nomura Small Cap

(注) 単位は%。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

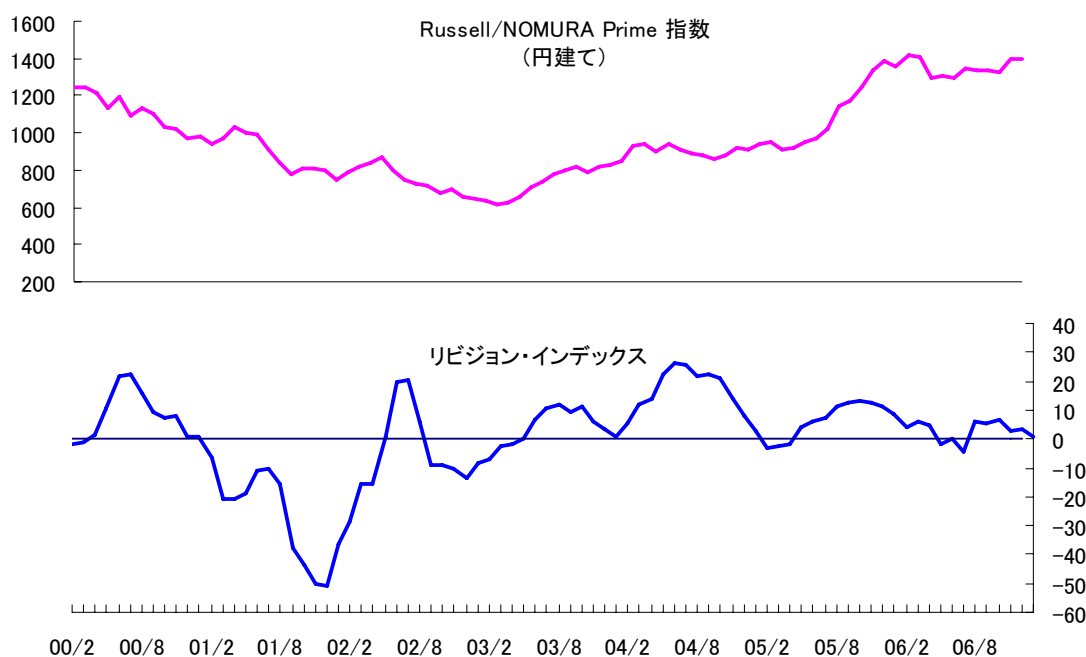
(出所) 野村証券金融経済研究所

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## リビジョン・インデックスは低下

Russell/Nomura 日本株インデックスを構成する銘柄の業績修正動向を示すリビジョン・インデックスを見ると（図表4）、2007年1月は、前月の3.29から低下し、0.83となった。上方修正銘柄数が503銘柄、下方修正銘柄数が490銘柄となっており、僅かながら上方修正銘柄数が下方修正銘柄数を上回る結果を示した。

図表4 リビジョン・インデックスとパフォーマンス



	リビジョン インデック ス	上方修正 銘柄数	下方修正 銘柄数
2007年01月	0.83	503	490
2006年12月	3.29	613	558

（注）リビジョン・インデックスとは、 $(\text{上方修正銘柄数} - \text{下方修正銘柄数}) / \text{有効銘柄数} \times 100$  で算出される業績の修正動向を示す指数である。2007年1月の有効銘柄数は1,574銘柄。業績予想は野村及び東洋経済が予想する連結・経常利益を用いている。ここでは、母集団を Russell/Nomura 日本株に含まれる全銘柄とし、月次の業績修正に基づいて算出している。

（出所）野村証券金融経済研究所

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## 2. 業種別パフォーマンス・レビュー

## 空運業が上昇

2007年1月は、Prime 指数において、良好なパフォーマンスを見せた業種は、空運業であった。ついで、ガラス・土石製品、証券・商品先物取引業となっている。一方、パフォーマンス悪化が目立った業種は、医薬品などであった。（図表5）。

図表 5. Russell/Nomura 業種別パフォーマンス(上位・下位 10 業種)

指数	Prime	2.39	Large Value	3.47	Large Growth	1.22	Small	3.06
上位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 空運業	11.56	不動産業	10.56	その他製品	13.33	証券・商品先物取引業	13.89
	2 ガラス・土石製品	9.46	金属製品	10.25	証券・商品先物取引業	12.90	海運業	9.73
	3 証券・商品先物取引業	8.34	ガラス・土石製品	9.92	空運業	11.56	その他金融業	8.79
	4 不動産業	8.33	その他金融業	9.79	ガラス・土石製品	10.73	倉庫・運輸関連業	6.42
	5 海運業	7.86	機械	8.26	不動産業	9.36	ガラス・土石製品	6.04
	6 その他製品	6.41	海運業	8.02	海運業	7.18	鉄鋼	5.16
	7 倉庫・運輸関連業	6.25	卸売業	7.28	建設業	4.97	サービス業	5.04
	8 卸売業	6.01	精密機器	7.20	情報・通信業	4.58	保険業	4.47
	9 電気・ガス業	5.34	電気・ガス業	5.81	陸運業	4.41	医薬品	4.30
	10 その他金融業	5.23	証券・商品先物取引業	4.92	石油・石炭製品	4.16	不動産業	3.81
下位業種	Prime		Large Value		Large Growth		Small	
	1 医薬品	-3.68	医薬品	-5.11	金属製品	-9.25	精密機器	-1.99
	2 ゴム製品	-1.36	ゴム製品	-1.89	ゴム製品	-7.68	その他製品	-1.35
	3 小売業	-0.64	食料品	-0.92	医薬品	-3.96	金属製品	0.07
	4 精密機器	-0.51	小売業	-0.65	電気機器	-3.42	鉱業	0.31
	5 電気機器	-0.02	その他製品	0.53	小売業	-2.74	水産・農林業	0.32
	6 食料品	0.11	石油・石炭製品	1.12	電気・ガス業	-1.31	食料品	0.68
	7 金属製品	0.65	繊維製品	1.32	精密機器	-0.78	石油・石炭製品	1.15
	8 水産・農林業	0.79	非鉄金属	1.56	化学	0.50	電気機器	1.23
	9 鉱業	0.86	情報・通信業	1.68	輸送用機器	0.55	陸運業	1.26
	10 輸送用機器	1.13	建設業	1.76	食料品	0.79	非鉄金属	1.65

(注) 単位は (%)。リターンは円建て・配当込みのものであり、年率換算されていない。

(出所) 野村証券金融経済研究所

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

### 3. 個別銘柄パフォーマンス・レビュー

#### 寄与度上位は、任天堂 (7974)、ソニー(6758)

ここでは、個別銘柄の各指数へのパフォーマンス寄与度をランキングし、その結果に基づき、上位・下位5社を示している(図表6)。なお、月次リターンは、円建てベースで見ている。

Russell/Nomura Prime 指数を構成する銘柄のうち、任天堂(7974)が0.126%と最も高い寄与度を示した。同銘柄の月次リターンは15.21%となった。次いで、高い寄与度を示したのはソニー(6758)となっている。一方、マイナスの寄与度が大きかったのは、キヤノン(7751)の他、武田薬品工業(4502)、第一三共(4568)といった医薬品銘柄となっている。

図表6 個別銘柄パフォーマンス寄与度上位・下位5社

		Prime:2.39%				Top:2.57%			
		寄与度(%)		リターン(%)		寄与度(%)		リターン(%)	
上位 銘柄	1	7974	任天堂	0.126	15.21	7974	任天堂	0.237	15.21
	2	6758	ソニー	0.124	8.82	6758	ソニー	0.233	8.82
	3	8802	三菱地所	0.105	12.01	8802	三菱地所	0.197	12.01
	4	8604	野村ホールディングス	0.104	9.35	8604	野村ホールディングス	0.196	9.35
	5	9984	ソフトバンク	0.088	22.03	9984	ソフトバンク	0.166	22.03
下位 銘柄	1	7751	キヤノン	-0.111	-5.22	7751	キヤノン	-0.209	-5.22
	2	4502	武田薬品工業	-0.066	-3.67	4502	武田薬品工業	-0.124	-3.67
	3	4568	第一三共	-0.061	-9.68	4568	第一三共	-0.114	-9.68
	4	8603	日興コーディアルグループ	-0.040	-13.26	4503	アステラス製薬	-0.066	-5.18
	5	4503	アステラス製薬	-0.035	-5.18	6954	フナック	-0.055	-4.86

		Large-V:3.47%				Large-G:1.22%				Small:3.06%			
		寄与度(%)		リターン(%)		寄与度(%)		リターン(%)		寄与度(%)		リターン(%)	
上位 銘柄	1	6758	ソニー	0.301	8.82	7974	任天堂	0.276	15.21	5541	大平洋金属	0.058	18.85
	2	8604	野村ホールディングス	0.189	9.35	8802	三菱地所	0.230	12.01	4314	ダヴィンチ・アドバイザー	0.046	19.49
	3	9501	東京電力	0.188	6.75	9984	ソフトバンク	0.193	22.03	8268	西友	0.045	30.94
	4	8058	三菱商事	0.161	8.93	8801	三井不動産	0.102	7.75	8739	スバークス・グループ	0.042	24.00
	5	7011	三菱重工業	0.151	14.60	5411	ジェイ エフ イー ホー	0.094	9.14	4518	富山化学工業	0.041	26.05
下位 銘柄	1	4568	第一三共	-0.099	-9.68	7751	キヤノン	-0.244	-5.22	6707	サンケン電気	-0.049	-16.81
	2	8603	日興コーディアルグループ	-0.099	-13.26	4502	武田薬品工業	-0.144	-3.67	7984	コクヨ	-0.030	-11.75
	3	6963	ローム	-0.062	-7.51	8035	東京エレクトロン	-0.075	-9.06	6146	ディスコ	-0.027	-9.32
	4	6665	エルピーダメモリ	-0.048	-20.03	4503	アステラス製薬	-0.073	-5.18	5977	コマツ電子金属	-0.026	-21.52
	5	8303	新生銀行	-0.032	-5.43	6857	アドバンテスト	-0.071	-11.44	6383	ダイフク	-0.023	-8.73

(注) リターンは円建て・配当込みのものである。

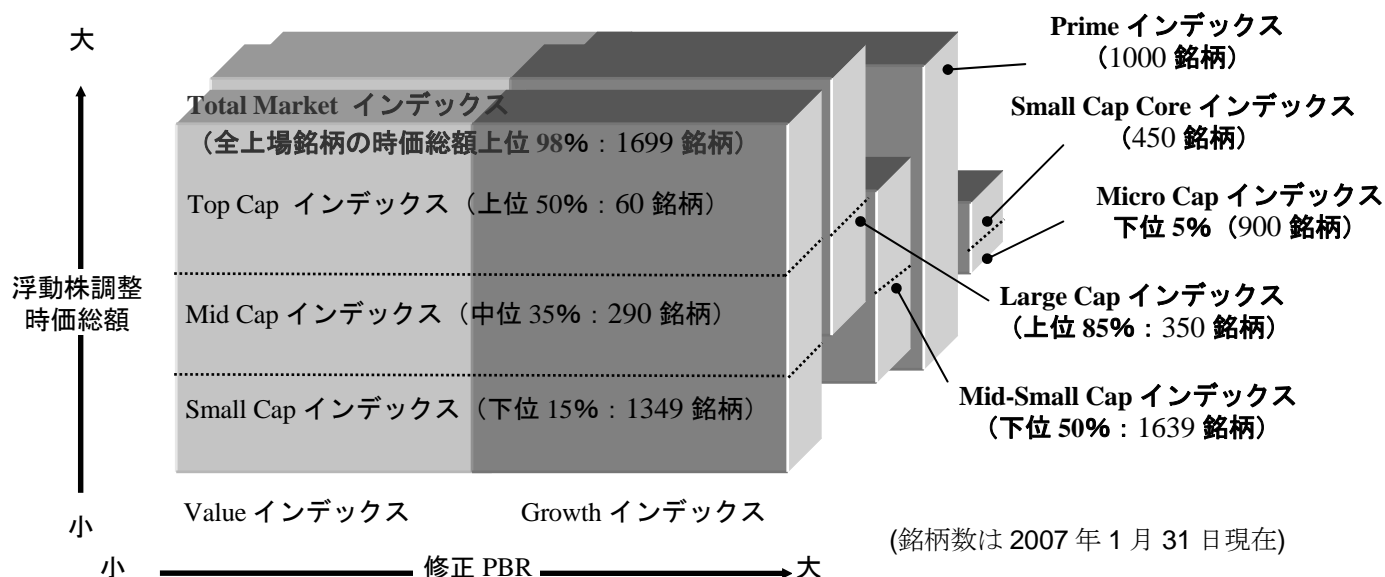
(出所) 野村証券金融経済研究所

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

## Q&A Russell/Nomura 日本株インデックスについて

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスって何ですか？

A: Russell/Nomura 日本株インデックスは米国、フランクラッセルカンパニーと野村証券金融経済研究所が共同開発した日本株式投資スタイルベンチマークです。



この他に 33 業種別インデックス (Total Market、規模別、Value、Growth、Prime) も用意されています。なお、規模別インデックスの分類指標は、安定持ち株控除後の時価総額です。Value/Growth インデックスの分類指標は、自己資本の含みを修正した修正 PBR です。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのルールブックはどこにありますか？

A: 2006 年度版は、  
[http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/docs/RN\\_rule2006.pdf](http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/docs/RN_rule2006.pdf)  
 をご覧ください。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータを見たいのですが、どこで公表していますか？

A: 以下の情報端末でご覧いただけます。

Bloomberg	: RNJI
時事通信	: SQ21、SQ22、SQ23、SQ24
QUICK	: NRIJ500~504、510~517
REUTERS	: FRCNRI01、FRCNRI02、FRCNRI03、FRCNRI04
INTERNET	: <a href="http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html">http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html</a>

なお、<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からは、最新のインデックスリターン、構成銘柄、構成銘柄の変更などがご覧いただけます。

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村証券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村証券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村証券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります、また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村証券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村証券から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスのデータが欲しいのですが？

A: インデックスリターン、インデックス個別銘柄時価総額ウェイト、個別銘柄情報については、  
<http://qr.nomura.co.jp/jp/frcnri/index.html> からダウンロードできます。QUICK、REUTERS、Bloomberg  
においても一部に限られますが、データを取得できます。それ以外に関しましては、下記の連絡先  
にお問い合わせください。

Q: Russell/Nomura 日本株インデックスについて英語の資料が欲しいのですが？

A: <http://qr.nomura.co.jp/en/frcnri/index.html> をご覧ください。

上記以外の Russell/Nomura 日本株インデックスに関するお問い合わせ先

中嶋 啓浩・徳野 明洋・平野 由美子：idx\_mgr@frc.nomura.co.jp  
電 話：03(3274)0924

このレポートは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このレポートには、野村證券において外国証券内容説明書を作成していない銘柄について記載がなされる場合があります。銘柄の選択、投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、野村證券は、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートに記載された意見は、作成日における判断であり、予告なく変わる場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスの役員は、このレポートに記載された証券について、買い持ちしている場合があります。野村證券およびその親会社である野村ホールディングスは、このレポートに記載された証券、それら証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買い持ちまたは売り持ちのポジションを有している場合があります。また今後自己勘定で売買を行うことがあります。野村證券は、このレポートに掲載された会社に対して、引受等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。このレポートは、野村證券から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします